



特集1
吉田城に行ってみりん!

特集2
「豊橋土産」買ってみりん!



発行 一般社団法人豊橋観光コンベンション協会
TEL0532-54-1484 http://www.honokuni.or.jp/toyohashi
〒440-0075愛知県豊橋市花田町石塚42-1 [豊橋商工会議所8F]
協力/一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー

せつかく 豊橋に来たのなら 吉田城に行ってみりん!

滔々と流れるとよ川を背に吉田城。広がる城下町。その先に東海道が通り、吉田宿は江戸と京都とのほぼ中間地であったため、多くの人が往来し、賑わい、現在の豊橋へと発展していきました。

5 東海道 吉田宿

東海道34番目の宿場町、吉田宿。この通りには江戸時代から続く豊橋を代表する老舗が今でも軒を連ねる。

6 西惣門跡

東の門と合わせ、その間が吉田宿。当時は6時～22時まで開門。それ以外は閉門され警備もついていた。

3 吉田城大手門跡

大手門から国道1号線を渡って吉田城内(豊橋公園)へ。

2 みたらしだんご

日本でこの店にしかない「だんご焼き機」で焼き上げられたみたらしだんごは香ばしく絶品。

吉田城

毎週日曜日10:00～12:00は豊橋の案内人のガイドさんがおり、城内を案内してくれます。
■開館時間/10:00～15:00
■観覧料/無料
■休館日/月曜日・年末年始
※月曜日が祝日の場合は開館

御城印販売

■時間/9:00～17:00 ■料金/1枚300円(税込)
■場所/豊橋市役所東館1階
じょうほうひろば(休館日:市役所の閉庁日)
豊橋市美術館(休館日:月曜日)

路面電車

■乗車券200円(全線均一) ■1日フリー乗車券550円

1 常夜灯

吉田城下で最も大きく吉田名物になっていた大灯籠。

2 東惣門跡

吉田城と東海道の接点にあった門。二川宿から東海道を通り吉田宿へ入る。

4 吉田宿本陣跡

吉田宿は本陣2軒、旅籠65軒の大きな宿場でした。この碑の立つうなぎの丸よは「べっぴん」発祥の地。

3 大木屋鮓

創業明治40年の老舗。地元でとれたネタで握る豊橋の寿司処。

4 菜めし田楽

創業文化年間。東海道とともに江戸時代から続く味。

豊橋駅の東口を出たら「豊橋鉄道市内線」乗り場へ。豊橋駅より7分「市役所前」で下車。歩いて豊橋公園内へ。

豊橋はうどんのまち「豊橋うどん」。

明治からうどん店を構える老舗が点在し、市内約100店舗あるといわれている豊橋。麺は固めでもやわらかめでもないほど良い中間。お出汁は甘さが特徴の豊橋味。「にかけうどん」がこの地域ならではのメニューで100年以上の歴史がある。まずにかけうどんから食べてみて。「豊橋カレーうどん」も豊橋うどんを楽しむ一品。

吉田城って こんなお城

1496年ごろに築城され、戦国時代には東三河の重要拠点として、今川義元・松平(徳川)家康・武田勝頼など名だたる武将が欲しがった城。徳川四天王のうちの一人、酒井忠次が城主を努め、家康が関東へ移った後は、池田輝政が城主を努め、石垣の整備をおこなった。現在、豊橋公園本丸広場に吉田城鉄櫓(模擬復興)があり、内部にはその歴史にまつわる展示があります。

鉄櫓からの眺め。

吉田城(本丸)復元模型
現在は昭和29年に建てられた鉄櫓のみですが、この模型を観ると、戦国武将が暮らした城の立派なことがわかります。

とっても不思議。豊橋には吉田城を示す看板がない?!

車で国道1号線より吉田大橋を渡ると、左側に吉田城が美しく見える。西八町の交差点を左に曲がるのがルートなのですが、その手前に看板がない…。左手側にあるはずだと想像しながらも、どこで曲がるのか、これまた看板がない…。カーナビの時代とはいえ、それ以前から変わらぬ豊橋。皆さんに不思議がられています。城に攻め入られては困るため、今もお守り続けている、ということなのでしょう。

吉田城主を20年以上務めたとされる酒井忠次の陣羽織(レプリカ)

池田輝政の顔ハメパネル2階から4階が展示室になっており、最上階へ続く階段の頭上にあります。撮影時は足元注意!です。

吉田城石垣修復工事の様子。
令和7年1月末まで石垣の修復工事が行われており、一部立入禁止のエリアがありますが、修復工事を行っている今しか見ることができません。工事はほとんど進んでいくので、毎回来てみて!!!